

# アーマード・ドライバー

★着るもので気分は変わります。特別な日はぜひお気に入りの一着で。



## 今月のピックアップ

「服の日」

2月9日は2(ふ)9(く)の語呂合わせから日本ファッショング 教育振興協会及び全国服飾学校協会などが制定した「服の日」。 服を着る楽しさを広め、衣服への興味関心を高めるために定められました。この機会に沖縄発のアパレルに触れてみては?



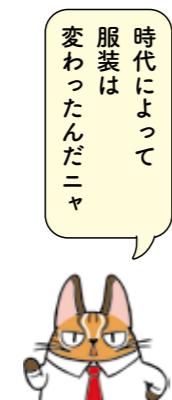
少年用の冬の紅型衣裳。  
黄色地牡丹尾長鳥霞文様紅型縮緬袷衣裳  
(那霸市歴史博物館提供)

琉球王国時代は  
どんな服装だった?

琉球王国時代の国王や王妃、士族が着ていた美しい紅型や、一般の人々が着ていた琉装に始まり、洋服の着用への移り変わりから現代の沖縄アパレルブランドの誕生と、時代ごとのニーズで変化してきた沖縄のファッショントの変遷を紹介します。

琉装は和服の着物と似ていますが、異なるのは女性は帯で固定しないという点です。これは沖縄の暑い気候を考慮して、風を通しやすい着方が考えられたとも言われています。

# 着物から洋装に 変わったのはいつ頃?



「かりゆしウェブ」は  
いつ登場した?

1970年に「沖縄観光の父」と呼ばれた宮里定三氏の発案で、沖縄の暑い夏を快適に過ごすとともに、観光沖縄をPRするために「沖縄シャツ」の名前で発売されたのが、かりゆしウェアの始まりです。



じられるアイテムばかりです。

かりゆしウェアだけでなく、沖縄でのリゾートステイを楽しむ「デレス」や、南国らしいモチーフがたくさん散りばめられたファッショニアアイテムなど、沖縄には県内外で人気のアパレルブランドがあります。沖縄で育った藍を使ったり、オリジナルのテキスタイルで小物を作るなど、どこのブランドのものも沖縄しさを感じます。

**沖縄発のアパレル  
ブランドが増加**

工業組合は、かりゆしウェアの製造に必要な設備と技術を有する事業者に対して、その証明として「かりゆしウェア」の下札を発行しています。



かりゆしウェアの下げ札  
(沖縄県衣類縫製品工業  
組合提供)